

ガバナー四方山話

第10回 欧州というところ

オランダでの勤務先が、欧州本部ということもあって、3年という期間でしたが欧州の中をいろいろ回ることが出来ました。主要都市にある事務所に日本からの会計士を送り込み現地で日系企業へのサービスを行うという手配師のようなこともやりながら日本人の居ないところには、自分で赴き関与先の対応をしたりしていました。

また、たまの休みには、仕事では行くことの無い処を選んで遊びに行きました。1度だけドーバー海峡をフェリーで渡り、ロンドンからまっすぐ南に行ったところのブライトンという海辺の街に行った時、民宿に泊まったのですが、そこで出てきたフィッシュ&チップスがとても美味しく、ロンドンのカフェなどで食べるものとは別物の美味しさに感激したことがあります。イギリス人でもちゃんと美味しい物を食べているんだ、とひどく感心したものでした。

オランダには2月にクロッカス・ホリデーという1週間だけのお休みがあり、その時に車で10時間も走って、オーストリアのチロル地方にスキーに行ったことがあります。現地で可愛いチロル風の宿屋に泊まったのですが、パンもお料理も美味しくてこれがこのチロルの家庭の味かと納得しました。しかし、宿のサウナに行くと男女関係なく皆さん等しく全裸でくつろいでいて文化の違いを肌で感じた次第です。

オランダではあり得ない風景でしたが、ドイツの都会に行くと、夏は街の真ん中にある公園の芝生の上に、キラキラのシートを敷いて、その上に何も身につけていない女性が日光浴をしているのを何度か目にして、ゲルマン民族の習慣というものを知ることができました。

地中海にイビサ島というスペイン領の島があるのですが、この島は他国からの観光客で成り立っているところです。しかし島のそれぞれの浜辺ごとに風景が違います。イタリア人が多い浜辺は普通の風景なのですが、イギリス人の多いところはトップレスの方が多勢で、ドイツ人が多いところはご想像の通りです。

スイスのツェルマットはマッターホルンの麓の街で、そこから登山鉄道やロープウェイを使って標高3,800mに上がるとイタリアとの国境になります。そのイタリア側もスキー場で降りるとチェルビニアという小さな町があります。一度だけこのチェルビニアに泊まってスキーを楽しんだことがあるのですが、そこでの食べ物にはツェルマットではあり得ない、イタリア料理でとても美味しくかつ安価で、国境一つでこんなに違うものかと感心させられたものです。

チェルビニアは4本のゴンドラとリフトを乗り継いで頂上から一気に滑り出して10分近くも停まらずに滑ることの出来る雄大なスキー場でしたが、グレンデの脇にある別荘のベランダで、ピキニ姿の女性が日光浴をしている横をスキーウェアに身を固めゴーグル姿の自分が疾風のごとく滑って居るという空間が信じられない一瞬でした。

イタリアと言えば、ピザが忘れられません。ピザの生地が美味しいのです。トッピングもそれなりに美味しいのですが、生地の美味しさは語り様がありません。ワインとピザだけで十分に食事を堪能できたことは、嬉しい思い出です。